

A-06 感染性呼吸器疾患

はいけっかく

肺結核

【概要】

結核菌による感染症です。肺に感染を起こすことが最も多いのですが(肺結核)、リンパ節、腸、骨などにも感染します(肺外結核)。ここでは最も患者が多い肺結核について主に記します。

【疫学】

かつては国民病といわれましたが、患者数は減少しています。しかし先進国の中では多く、平成23年には22,681人が発病しています。

【感染の経路と発病】

患者さんがせきをしたときにでる細かいしぶきに含まれる結核菌が乾燥して空中を漂い、他の人が息をすると肺の中に吸い込まれて感染します。感染してすぐに病気にはならず、感染後発病する人は10~15%程度です。

【症状】

だるさ、発熱、体重減少、寝汗などが出ることもあります。せき、たんが出る場合、他人にうつる可能性が高くなります。感染しやすい人は免疫のない若者、糖尿病、がん、透析患者、慢性関節リウマチで治療中の人、エイズなどです。せきが二週間以上続く時にはレントゲン検査を受けましょう。

【検査】

たんなどの培養で結核菌が見つかるとうつ病していると考えられます。結核菌は発育が遅いので、最終結果が出るまでに長い場合8週間近くかかります。

【治療】

結核菌が大量にたんから検出される場合には結核専門施設に入院します。それ以外は通院治療で

例1

2週間続く咳

レントゲン検査を受けましょう

図1

例2

治療計画



図2

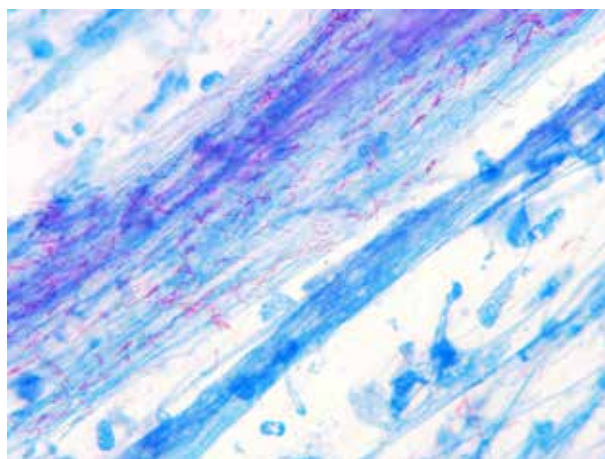


図3 結核菌の顕微鏡写真

きます。

治療は抗結核薬の内服で、最短でも6ヶ月間飲みます(最初の2ヶ月は4種類、その後の4ヶ月は2種類)。飲み忘れると、薬の効かない耐性結核になってしまうので、きちんと内服しましょう。治療終了後2年間は再発しないか検査をうけます。結核治療中は病状の問い合わせが保健所からあります。

菌を大量にだしている患者さんの近くにおいて発病する可能性が高い場合には、発病予防の薬をのみます。検診の指示は保健所が行います。

【治療費の公的補助】

結核と診断された場合には、医療費の一部が公費で負担されます。

【生活上の注意】

- 1) せきが出る場合、必ずマスクをしましょう。
- 2) 結核の治療中に夜勤などを行ってよいかどうかは主治医と相談しましょう。
- 3) 少ない確率ですが、治療後再発することがあります。

詳しい情報は結核予防会結核研究所：http://www.jatahq.org/about_tb/index3.html#5

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください!



呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会
ホームページ

www.jrs.or.jp/